

「サイバー攻撃の手口と守り方～情報セキュリティ入門～」を開催

総務省北陸総合通信局（局長 三田 一博）は、北陸サイバーセキュリティ連絡会、NPO法人エル・コミュニティ及び関西サイバーセキュリティ・ネットワーク事務局との共催により、令和3年2月6日、鯖江市鯖江公民館において「サイバー攻撃の手口と守り方～情報セキュリティ入門～」を開催しました。

本イベントは、中高生等に、サイバーセキュリティに関心を持っていただき、スマートフォンやパソコンへのサイバー攻撃と対応の事例について理解を深めていただくことを目的として実施しました。

なお、新型コロナウイルス感染症対策として会場への入場者数を最小限とし、YouTube Liveによるオンライン配信を行いました。

1 セキュリティワークショップ

セキュリティワークショップでは、福井工業高等専門学校 教授 斉藤 徹氏の指導により、福井県内の中高生20数名がサイバーセキュリティを学ぶ競技の一つであるCTF（Capture The Flag）にチャレンジしました。CTFとは、用意された課題の中に隠されたメッセージ（フラグ：旗）を、様々なセキュリティ技術を使って見つけ出し得点を競う競技です。参加者からは、楽しみながらスキルを磨く事ができたとの感想がありました。

2 セキュリティ競技報告会

セキュリティ競技報告会では、NPO法人エル・コミュニティ 中村 正一氏が、2021年度から開催する予定の中高生向けのサイバーセキュリティ人材育成プログラム「CyberSakura」を紹介し、続いてアメリカ大会（CyberPatriot）へエキビジョン参加したHana道場チーム、鯖江市中央中学校チーム等の参加5チームの状況報告を行いました。最後に、CyberSakura事務局が、この5チームに修了証を授与しました。

3 パネルディスカッション

パネルディスカッションでは、株式会社jig.jp 会長 福野 泰介氏をモデレーターに迎え、「サイバー攻撃の手口と守り方」をテーマに意見交換を行い、パネリストからサイバー攻撃の種類と様々な対策等について説明がありました。

【セキュリティワークショップ】



解説する福井高専 教授 斉藤 徹氏

【セキュリティ競技報告会】



修了証の授与

【パネルディスカッション】



モデレーター

株式会社jig.jp 会長

福野 泰介氏（右）

パネリスト

北陸先端科学技術大学院大学 教授

篠田 陽一氏（中央）

学生2名（セキュリティ競技参加経験者）

（左、左画面 オンライン参加）

（株）川口設計 代表取締役 川口洋氏

（左画面 オンライン参加）